

平成31年度（令和元年度）事業報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

公益財団法人 冬青舎中村家保存会

1 現況

(1) 事業

定款に掲げる事業は次のとおりである。

- 一 中村家住宅及び当家関係資料（収蔵品を含む）・文献の保全・管理・活用（貸出・展示を含む）に関する事業
- 二 中村家とそれに関わる北前船の歴史・文化の調査・研究に関する事業
- 三 中村家住宅と北前船文化の紹介と啓蒙に関する事業
- 四 その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

(2) 役員（令和2年3月31日現在）

代表理事	中 村 日出男	（中村家 当主）
理 事	師 田 一 郎	（(社) 福井茶の湯同好会 理事長）
理 事	岩 原 正 吉	（金沢大学 名誉教授）
理 事	吉 江 勝 郎	（(学) 富嶽学園日本建築専門学校 校長）
理 事	川 野 順 万	（元南越前町 町長）
理 事	林 雅 則	（元福井県立大学 理事長）
理 事	山 形 裕 之	（元福井県立歴史博物館 副館長）
理 事	河 野 通 亜	（武生特殊鋼材株式会社 会長）
監 事	山 川 均	（山川法律事務所 弁護士、公認会計士、弁理士）

(3) 評議員（令和2年3月31日現在）

中 村 由利子	（中村家親族）
山 中 剛	（中村家親族 ソニー 勤務）
山 中 友 子	（中村家親族 元大和証券 勤務）

2 理事会及び評議員会

(1) 理事会

- ・第19回決算理事会（令和元年6月23日開催）
決議事項：①平成30年度事業報告の件

②平成30年度計算書類並びに財産目録承認の件

③当法人事務局設置の件

報告事項：①保存修理工事について

②保存活用計画策定について

③当家収蔵品調査について

④当家住宅の現場公開について

・第20回定時理事会（令和元年12月21日開催）

報告事項：①保存修理工事の進捗状況について

②当家活用計画策定の進捗状況について

③当家収蔵品の調査について

④当家住宅の公開状況について

⑤その他について

・第21回定時理事会（令和2年2月15日開催）

決議事項：令和2年度事業計画書並びに収支予算書等、承認の件

（2）評議員会

・第9回定時評議員会（令和元年6月30日開催）

決議事項：①平成30年度事業報告の件

②平成30年度計算書類並びに財産目録承認の件

3 事業実施の概要

（1）当家住宅の保存修理（補助事業）

国の補助事業による当家住宅の保存修理については、平成30年6月1日付で国の補助金交付が決定し、設計監理者には（一財）京都伝統建築技術協会を選定、施工者には（有）山本製材を選定し、8月より工事を開始した。

昨年度は背戸蔵を中心に工事を実施したが、2年度目の本年度は背戸蔵及び新蔵、主屋について36,866千円の工事を実行した。

また保存修理と併せて、主屋、離れの耐震補強策を検討し確定した。

尚、屋根工事については当初部分的な瓦の差替えを予定していたが、工事を進める中で広汎な瓦の腐食や葺土の劣化が認められ全面葺替えが必要と判断されたため、10月に文化庁の立会調査を要請し設計変更の要望を行った。

その結果、主屋及び離れの全面屋根葺替えについて変更実施の了承を得て、令和2年度より変更工事を開始することとなった。

保存修理工事の実行にあたっては、毎月1回、所有者、設計監理者、施工業

者、県、町の担当者が集合し「工程会議」を開催し、工事の進捗状況を確認するとともに、問題点の対応や方針について論議、情報共有して的確な保存修理の実施に取り組んだ。

(2) 当家住宅の活用計画

当家活用計画の策定事業について、南越前町の町費により平成31年度より2年計画で実施することとなり活用計画検討委員会を設置、(一財)京都伝統建築技術協会に事務処理を業務委託して計画策定作業を進めた。

本年度は、5月以降毎月1回程度の「活用会議」を開催して計画案につき論議を重ね、11月8日には文化庁調査官出席のもと「第1回活用計画検討委員会」を開催、活用計画の方向性について論議と確認を行った。

(3) 当家収蔵品の調査

当家建物の公開と併せ当家調度品等の収蔵品の展示を行うべく、平成28年12月より県立歴史博物館の山形副館長らのご協力のもと、「収蔵品調査」を実施してきた。

本年度も県立歴史博物館のご協力を得て、月1回を目途に計8回の「収蔵品調査」を実施し、資料毎に写真撮影し記録分類を行って公開時の展示に向けての準備を行った。

本調査を通じて発見された資料は、これまで県立歴史博物館等への貸出展示を行ってきたが、今年度の貸出は無かった。

(4) 当家文書の分類・整理

当家文書については、平成28年3月末に中村家文書調査委員会により約3万5千点の文書について目録作成されたが、当家文書は仮分類のまま歴史博物館内に仮保管されていた中、昨年12月、南越前町により当文書専用収蔵庫が設置され当家文書を博物館より移送収納、本年度は仮分類中の資料について本分類作業を行った。

当家中世文書については東京大学史料編纂所により写真撮影され画像が広く研究者に公開されているが、今後は残りの資料についても本分類作業を進めるとともに、写真撮影によるデータベース化を進め、積極的なデータ提供により当家文書の調査研究の促進に取り組む。

(5) 当家住宅の公開状況

本年度より主屋の工事も着手され、従来のような特別公開が実施できない中で、工事現場を公開する現場公開の実施に取り組んだ。

5月19日には岩倉町長臨席のもと、古式に則った工事の安全祈願式「鉦始めの儀」と併せて現場公開を実施し、専門家のみならず一般住民に対しても文化財修理についての理解を深める機会を提供した。

また7月9日には小松工業高校の生徒及び教師を対象に、和風建築の文化財修理について学習するための実地見学会を行った。

3月にも現場公開を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大の中、やむなく実施を断念した。

(6) 公益財団法人活動

当法人では、平成31年3月29日付にて公益財団法人の認定を受け、本年度より公益法人活動を開始した。

公益法人移行に伴い、定款や役員名簿、事業計画、事業報告などの公開が求められるため、ホームページを作成し11月より順次情報のアップを行った。

また、当法人の主たる公益事業である当家住宅の公開、活用については、上述のとおり、保存修理を的確に進めるための「工程会議」や、公開等の活用を検討するための「活用会議、活用委員会」、公開時の展示に向けての「収蔵品調査」等を定期的に行き実施し、有益で質の高い公益事業の実施、提供に向けてきめ細かく取り組んだ。

以上